

令和 7 年 7 月定例教育委員会会議録

1. 招集年月日
令和 7 年 7 月 23 日（水） 午後 1 時 30 分～
1. 招集場所
磐梯町中央公民館 大会議室
1. 出席委員
中川綾教育長、玉水まどか職務代理者、鈴木修一委員、南部あゆみ委員、宮森優治委員
1. 欠席委員
なし
1. 説明のため出席した者
教育課長 大森義秀、文化生涯学習課長 佐原幸樹
1. 開会（午後 1 時 30 分）
中川教育長が開会を宣言した。
1. 会議録作成者の指名
教育課長を指名した。
1. 会議録署名人の指名
南部委員、鈴木委員を指名した。
1. 前回会議録の承認
全員が承認した。
1. 教育長報告

教育長	<p>私から報告をさせていただきます。報告事項についてご覧ください。</p> <p>6 月の終わりから本日までの報告をさせていただきます。6 月 30 日に、福島県知事が来町いたしまして、町長と副町長と私でお話をさせていただきました。とても和やかで、前向きなお話をたくさんしていただいて、知事ですので教育行政に関しては、自分からはという話もありましたが、磐梯町の教育には期待をしていますという言葉いただきました。</p> <p>それから、7 月 8 日、9 日とこの週、カナダのオリバー市から市長と議員が来町いたしました。磐梯中学校と第二小学校を訪問し、授業に参加していただいて、交流してもらう場面がありました。お土産を一人一人手渡していただきました。小学生は恥ずかしいという気持ちを越えて、コミュニケーションを英語でとる気持ちがみんなあるなという感じがしました。中学生になると思春期ですので、ちょっと照れがありますが、それでもコミュニケーションをとるような姿は見られたかなと思います。</p> <p>それから、0-15 教育基本構想関係になりますが、7 月 15、16 日と大森課長と内田園長と私で山形県金山町の認定こども園「めぐた</p>
-----	---

ま」に見学に行ってまいりました。写真をいくつか後ろの方に上げさせていただきます。 「めぐたま」はめぐい子どもっていう意味で、町唯一の認定こども園ということで見てまいりました。サイズ感も、今度磐梯町でつくる認定こども園と似ていると思いました。写真がわかりづらいのですが、屋根の上に草が生えていて、屋根の上にも出られます。屋根の上から見ている写真です。「最初ヤギを屋根の上に乗せて、草を食べてもらうつもりがヤギが屋根からジャンプして降りてしまった」などの話もしてくれました。里山をこの園の周りに作っていくということで、田んぼも畑も山も裏にあって、川も小さく園庭に流していて、園の中で里山を作っていくことをコンセプトに作られている園でした。磐梯よりもおそらく雪が降るところではあるんですが、雪対策も含めてですね、いろいろ話をしてきました。

それと一番最後のページに学童クラブの写真もありますがここの法人は学童クラブもやっているし、あとホースセラピーもやっていて、私も馬に乗ってきました。1回しか乗ってないですけど、ホースセラピーの効果みたいなものを感じました。磐梯でも飼えないだろうかと思っているところですけど、「誰が面倒見るのか」とつつこまれそうなので、山形まで行けばいいのかなと思っています。そもそも金山町はこの一番最後のページの右下にある写真のような街並み、100年構想で街並みを作っていくということに取り組んでいて、金山町に入ると、この金山造りというような建物が並んでいます。古いものを守っているというよりは、新しく建てる家もこのような作りでやっていくということが決まっているのだと思うのですが、町からの補助も出るみたいです。

また旧郵便局を子育て支援センターとして活用しているなど、まちづくりに力を入れていて、金山町に入ると雰囲気が一変していきという作りになっているなど感じるころでした。人口は4,000人ちょっとなので、磐梯町と近いと感じています。とても良かったです。

それから幼稚園、小学校の行事関係に進みます。3ページ目につみきワークショップの写真があります。赤い絨毯のところに積み木がたくさんありますが、檜の積み木を何万個と広げています。「木を感じる」ところから始まって、創造力を高めて、非認知能力を高めるというワークショップです。各学校園に特色ある学校づくりのために補助されている分を、今年、幼稚園はこのつみきワークショップに全部を捧げて、力を入れたということなのでご紹介させていただきました。保護者の方々もすごく楽しかったとおっしゃっていました。

それから7月14日は中学校の要請訪問があつて、小学校の先生方、幼稚園の先生方も中学校に見に来られるように努力して、かなり人数が多く、訪問後の振り返りも盛り上がっていました。

それから7月18日に無事1学期が終わりました。本当にお疲れ様でしたと先生方にお伝えしたいです。18日は幼稚園は夏祭りを開催して、中学校では実は運動会を開催しました。学校が行事としてやる運動会ではなくて生徒会、子どもたちが主体となって運動会をやりたいということで実施されたもので、全部で4種目でしたが、綱引きと借り物競争とタイヤ引きとリレーをやりました。学年対抗で、とても緩やかで、いい雰囲気だなと思って見ていました。

小学校でも、練習にすごい時間をかけてやるというよりは、地域の人たちと一緒に緩やかな運動会ができるといいよねという話題も学校運営協議会等が出てきていますが、中学生が主体的に、子どもたちがやりたいような競技を好きにやっていくみたいな雰囲気はとても良かったなと思っています。先生方も「これぐらいでいいよね」みたいな話をしてい

たので、もしかしたら広がっていくかもしれないと思って見ていました。

それから生涯学習・スポーツ関係のところでは、ブラックダイヤモンドズの激励会をしました。アンダー15で2年連続での県大会優勝。すばらしいなということです。

それと、プログラミング授業をセンターが主催でおこなっておりまして、一小、二小、中学校で何回かに分けて実施しています。

それと、「ゆずりは」の発表会、私もお呼ばれして参加して来ました。そこに第一小の6年生が3人、語り部として出ていました。彼らは5年生の時に「ゆずりは」の方々に総合の授業で教えてもらい、どういふご縁かはわからないのですが、そのまま6年生になり男の子2人女の子1人の3人が語り部をしていました。とてもいい顔をしていて、いい場面だったなっていうのと、若い語り部が広がっていくといいなと思っています。教育委員会の出来事としては以上です。

情報共有としてニュージーランドの語学研修の参加予定者、9月30日が最終締め切りになるので、ここまではまだキャンセルできるんですが、今のところ22名の申し込みという形になりました。だいぶ最初の頃よりも増えたかなと思っています。

それからALTの通称チャーリーと呼ばれているシャーロット・エミリーさんが、7月28日に帰国をすることになっています。その後はオーストラリアに行って先生の資格を取るという話になっているようです。新しいALTのシアオシ・トゥエッティさん、通称オッシさんという方が8月6日に着任する予定です。8月7日に役場で挨拶をするのですが、いらしたら会っていただきたいなと思うんですけど、私もまだ会ったことがないです。なんと噂では198cmもあるそうで、バスケットボールを得意として選手でもあったみたいですので、楽しみにしてください。つまりALTがいなくなっちゃう、じゃあどうするのってよく聞かれるんですが、次のALTが決まっていますよということをお伝えしております。

それから、前もお話ししましたが、給食の魅力化についての文科省の研究事業が採択されているのですが、NPO法人「子どもと農がつながる給食だんだん」の方々と連携をしていくことになっています。産業振興課と振興公社と会議を始めています。どうしたら地場産の野菜を使った給食が増やせるかなということを仕組みづくりも含めて考えていくということになっております。

ご紹介したいところがいくつかあって、4ページ目のフォトウォークばんだい Jr. で、中学一年生が総合の授業でシグマのカメラを借りて街歩きをして写真を撮って、それを印刷はエプソンの人たちが来てくれて印刷をきれいにしてくれるという活動をしました。二小の方に行く子がいたり、一小の方に行く子がいたり、学校の周りをうろうろして写真を撮った子たちがいたり、いろんないい写真が撮れました。まだ決定ではないですけど、役場の人たちの名刺の裏に、「中学生が撮った写真とかが使われるといいよね」みたいな話が出ているみたいです。

それから一小の様子としては、図工の時間で体験学習に力を入れているところです。砂とか土とか葉っぱとか、それで作品を作っています。

二小は自由進度学習に力を入れて、まずは算数から始めています。今までは学年ごとで算数を取りあえず始めてみようと話していましたが、1学期の終わりから3、4年生はミックスして、2学年にまたがった集団で自由進度学習にトライするところまで今進んでいます。二小の教室の前のフリースペースで、机を動かして、異年齢で一緒に授業をやっている写真です。ちょっとずつ特色を積み重ねて実践しているご報告でした。私からは以上になります。

	何かご質問等ありますでしょうか。
玉水職務代理者	磐梯町の給食・魅力化について。NPO 法人「子どもと農がつながる給食だんだん」は町内の法人ですか。
教育長	<p>町内ではなく郡山市の団体です。代表の方はイギリスに住んでいてフランスの有機野菜を使うような給食を日本でどうやってやるかみたいな知見を持ってらっしゃる方です。長野などいろんなところで給食の栄養士さんや栄養教諭の方とか連携して関わっているということです。団体名が長いので、「だんだんさん」と私は呼んでいます。</p> <p>他にありますか。</p>
鈴木委員	山形の金山町、大変素晴らしいように見えますが、子どもたちの数の増減はどうでしょうか。
教育長	減ってはいると思います。公立の園ではなく、民間でこども園をやっているということ、昔、保育所と幼稚園が一緒になった経緯があるこども園でもあるので、それも目的に含めて視察しました。
鈴木委員	できてからどのぐらいの年数経っているのですか。
教育課長	そんなに古いわけじゃないですね。平成23年に合併をしたそうです。公営の保育所と民間の幼稚園があって、それを認定こども園にして社会福祉法人としたということです。建物自体はその6年後に完成して今の形になったということです。
教育長	<p>統合するときに、子育て支援センターのスタッフも一緒に運営する話になったらしいです。町の職員が出向の形でやっていて、それを5年で出向が解かなければいけないとなった時に、人がいなくなっちゃうので、支援センターは町にお返ししたという経緯があって。なので、すごく町とは近い関係でやっているんだなっていうのは思いました。また子育て世代が元気だなと感じて、この一番下に「子育て支援センターおひさま」がありますが、ここはさっきご説明した旧郵便局の古い建物の中をリフォームして支援センターを作っているところで、民間のボランティア団体が積極的に活動をしています。また、町の元公民館があったところが、今更地になっていますが、そこに子どもたちがみんな集まるような場所を作るっていう嘆願書が2,000人分ぐらい出て、そういう方向に今向かっているそうです。だから小さい町ですが、建物を新しく建てるという話があるそうです。それが良いか悪いかはわかりませんが、高齢者からは反対の意見として、「子どもばかりなんでだ」とはなっているようなので0歳から100歳までが行けるような施設を作りたいって話し合いが始まるみたいです。</p>
南部委員	ホースセラピーはどんな感じでしたか。
教育長	とても良かったです。馬が4頭ぐらいいて、世話する人たちが配置されていて、不登校の子たちが通いながら、馬の世話をしたり、馬に乗る練習をしたり、あと宿泊もできて、何日間か暮らすこともできるみたいです。馬にも乗らせていただき緊張しましたが、途中でリードしてくれ

	<p>る方が、「馬に合わせてください」って言ったんですよ。それで「あ、そういうことか」と思って、緊張感がなくなりました。馬に合わせていくってということと、馬はしゃべらないからこそいいとも感じました。あと、天気が良くて気持ちよかったっていうのも大きいですけど、ぜひ行ってみてください。</p>
南部委員	<p>中学校の運動会をしたということでしたが、町民体育祭もやりますが、整地はしますか。</p>
文化生涯学習課長	<p>最終的にはレーキをかけてやります。</p>
教育長	<p>それではこれで教育長の報告を終わりたいと思います。</p>

1. 議事

○議案第35号磐梯町中学校部活動指導員人材バンク設置要綱を制定する訓令について

文化生涯学習課長より説明

宮森委員	<p>今現在で指導員になっているのは何名ぐらいですか。</p>
文化生涯学習課長	<p>25名ぐらいです。アンサンブルの場合は1楽器に1人とか2人とかずつついていきますから、10種類あればそれで10名。その他に卓球と陸上でお願いしております。</p>
宮森委員	<p>基本的にはその方々が登録することになりますか。</p>
文化生涯学習課長	<p>今後はその方々も人材バンクに登録してもらうということになります。</p>
玉水職務代理者	<p>現在登録されている25名は、ほぼ保護者でしょうか。</p>
文化生涯学習課長	<p>7割8割は、近隣の町村から来ていただいています。人の取り合いです。大きい自治体に囲われちゃうと、小さい町村は、残りの人というふうになりますので、ですから今言われているのは、その法規的な部分で、指導員を配置できないかなということで、複数の市町村において、一人の方を配置できないかなというような話も出ています。昨今の新聞報道では、もうこの人材バンクについては、小さい自治体では限界があって、だめだというような新聞報道も出されています。</p>
鈴木委員	<p>これは兼務とか掛け持ちというのはダメなんですか。</p>
文化生涯学習課長	<p>掛け持ちというのはできません。</p>
玉水職務代理者	<p>人材バンクと話が少し変わりますが、教育委員会の研修に行くと、元中学校の先生などは、生徒を指導する熱意が強いから、部活の指導はあ</p>

教育長	<p>まり外部の人に任せたくない先生も実は多いという話を聞いたりするのですが、磐梯中の先生はどうなのでしょう。</p>
	<p>今はどちらかという指導を先生方がかなりしている状態で、磐梯中かどうかというよりは、本当は希望があれば副業申請をしてやっていいよっていう流れが国の方では方針としては出されていると思うんですね。やりたいのにやらせてもらえないになることではないということです。</p> <p>仕事の時間よりオーバーしてやっていることが問題なのであって、指導したいっていう人は副業申請をして部活の指導員として登録をするっていうのが流れだろう、ということです。磐梯町は今のところまだ、地域展開すらできていないものの方が多いので、先生方の負担をいかに減らすかということの方が先にやらなきゃいけないことなのかなというふうに思っていますが、嫌々やってるっていう感じでもないとは思いますが、負担にはなっているのは間違いないと思います。やりたい方がやれなくなるような仕組みも必要ということかなとは思っています。</p>
	<p>いかがでしょうか。他に質問がなければ、議案第35号についてお諮りします。原案の通り承認してもよろしいでしょうか。</p>
委員全員	はい。
教育長	異議ありませんので承認されました。

異議なく承認

○議案第36号磐梯町ふれあいセンター利用料助成金交付要綱を制定する訓令について

文化生涯学習課長より説明

質疑なし

異議なく承認

○議案第37号磐梯町立の学校等における団体徴収金及び学校徴収金事務の取扱要領について

文化生涯学習課長より説明

質疑なし

異議なく承認

○議案第38号令和8年度使用小学校及び中学校用教科用図書並びに学校教育法附則第9に規定する教科用図書の採択について

教育課長より説明

質疑なし

異議なく承認

1. その他

今後の日程について
教育委員関連について
主な行事について

閉会